

いすみ市の地域公共交通活性化総合事業の取り組み

(計画事業)
(調査事業)

経緯

- ✓ いすみ市内のバス交通の状況は、民間バス事業者による路線バス運行は1路線もなく、市内の大半が交通空白地帯と化していた。

合併前の旧夷隅町、旧大原町、旧岬町の交通形態及び交通体系がさまざまであったため、交通網を整備し、広域性のメリットの拡充を図り、市民及び利用者にとって利便性の高い交通網の整備を検討。

現在までの取り組み

- ◇ 路線バスの試行運行(期間:H19.12.1~H20.11.30)を実施。
 - 市内循環(2路線)、夷隅巡回(1路線)、岬巡回(2路線)、大原巡回(6路線) 計11路線。
 - 試行運行期間中、3ヶ月毎の利用実績並びに市民要望等の検証をおこない、利用者数の増加が見込めない夷隅巡回と、岬巡回については、試行運行期間終了をもって運行終了し、利用者が増加している市内循環路線、大原巡回路線については運行を継続した。
- ◇ 試行運行の結果を踏まえ、利便性を考慮したダイヤの見直しを図り本格運行を開始した。(H20.12.1~)

今後の取り組み

- 利用者の更なる利便性を高めるべく、JR外房線や高速バスとの接続を考慮したダイヤ設定。
- 高齢者や障害者等にも配慮し、乗る人すべてにやさしいステップリフトを装備した小型バス車両の導入を計画。
- 各路線が集約される市役所大原庁舎にバス待合所の整備を検討。
- 運転免許証自主返納者(65歳以上)に対する運賃の減免(半額)。

いすみ市バス運行経路図(H1912.1~H20.11.30)

夷隅巡回線
(H20.11.30を
もって運行終了)

岬巡回線
(H20.11.30をもっ
て運行終了)

大原巡回線
(H20.12.1より増便
し継続運行)



運行形態

バス6台を使用

11路線(市内循環2
路線、夷隅巡回1路線、
岬巡回2路線、大原巡
回6路線)を運行

